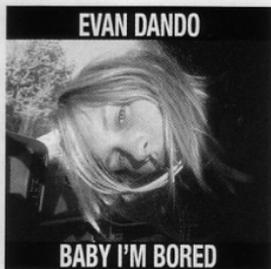


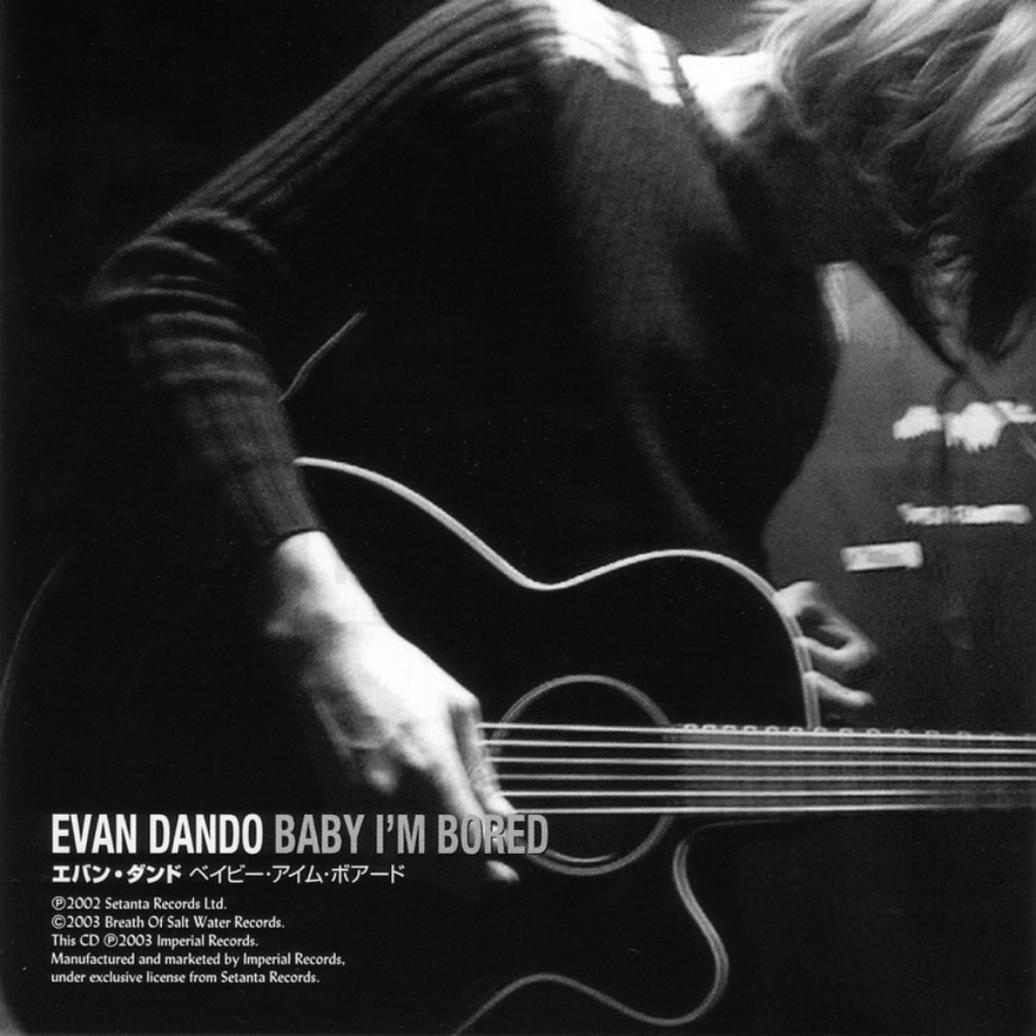
*Imperial
Records*

SETANTA



EVAN DANDO BABY I'M BORED

TECI-24167



EVAN DANDO BABY I'M BORED

エバン・ダンド ベイビー・アイム・ボアード

©2002 Setanta Records Ltd.

©2003 Breath Of Salt Water Records.

This CD ©2003 Imperial Records.

Manufactured and marketed by Imperial Records,
under exclusive license from Setanta Records.



- 1 Repeat 3:12
リピート
- 2 My Idea 2:32
マイ・アイディア
- 3 Rancho Santa Fe 4:21
ランチョ・サンタ・フェ
- 4 Waking Up 2:34
ウェイクング・アップ
- 5 Hard Drive 3:13
ハードドライブ
- 6 Shots Is Fired 2:46
ショット・イズ・ファイアード
- 7 It Looks Like You 3:14
イット・ルックス・ライク・ユー
- 8 The Same Thing You Thought Hard
About Is The Same Part I Can Live Without 3:41
ザ・セイム・シング
- 9 Why Do You Do This To Yourself ? 1:56
ホワイドゥ・ユードゥ・ディス・トゥ・ユアセルフ
- 10 All My Life 3:10
オール・マイ・ライフ
- 11 Stop My Head 3:33
ストップ・マイ・ヘッド
- 12 In The Grass All Wine Colored 3:26
イン・ザ・グラス・オール・ワイン・カラード
- 13 Shots Is Fired with Liv *bonus track 2:40
ショット・イズ・ファイアード
- 14 Tongue Tied (1999) *bonus track 3:29
タング・タイド

おことわり:本メニューとカラー・ブックレット等の記載が若干異なっておりますが、これはオリジナル・アートワークを使用している為です。また、このCDにはお聴き苦しい箇所がありますが、これはオリジナル・マスター・テープに起因するものです。何卒御了承下さい。

本作を手にしている人なら、01年にエバン・ダンドが個人名義で『Live At The Brattle Theatre/Griffith Sunset ep』というアルバムを既にリリースしていたのを当然知っていることだろう。オーストラリアのEMI傘下、Modular Recordingsというレーベルから発表されたこのアルバムは、2000年10月18日のマサチューセッツ州はケンブリッジにあるBrattle Theatreでの完全弾き語りソロ公演の様相を収録したライブ盤（なぜか『Griffith Sunset』という6曲入りミニアルバムとの2CD仕様）。あいにくと日本ではほとんど話題にならずじまいだったが、エバン・ダンドという人がいかに不器用で、でも愛すべきアーティストであるかを証明したようなヒューマンな内容に、入手当時は聴きながら唸ってしまったものだった。なぜなら、ヴィクトリア・ウィリアムス、ゲール・ガーネット、ビッグ・スターのカヴァーを含むそのライブ・アルバムには、80年代から90年代にかけて疾走してきた彼が、ギター片手に再度シンプルな音楽ファンに、初心に立ち返ろうとする姿勢が強く感じられる作品だったからだ。カップリングのミニ・アルバム『Griffith Sunset』の方にいたっては、フレッド・ニール、ロートン・ウィリアムス、ジョン・ブライン、タウンズ・ヴァン・ザント、ルー・ヴィン・ブラザーズ、ティム・ハーディンの楽曲をとりあげたカヴァー集で、これから彼が何をしようとしているのか、どういう存在であろうとしているのかがたどたどしくも痛いほど伝わってくる作品でもあった。エバンは次で大きく前進するに違いない。あの作品に触れたファンであれば、おそらくほとんどの人がそう感じたのではないかと思う。そのくらい『Live At The Brattle Theatre/Griffith Sunset ep』という作品には生命感が強く宿っていた。そう、少なくとも、レモンヘッズの最後期の作品よりはるかに。

レモンヘッズのリーダーとして約10年以上にわたり活動してきたエバン・ダンド。そんな彼がいよいよソロ・アーティストと

して本格的に活動を再開する。先の『Live At The Brattle Theatre/Griffith Sunset ep』がそのための助走だったとするなら、本作『ベイビー・アィム・ボアード』は新たな第一歩を告げる決心の1枚と言ってい。レモンヘッズが最後のオリジナル・アルバム『カー・ボタン・クロス』をリリースしてから、実に7年ぶりの大復活である。

レモンヘッズに関しては、もはやこと細かに説明するまでもないだろう。日本にも数回にわたって来日を果たし、最終的にほとんどのオリジナル・アルバムが日本でもリイシューされた（現在はすべて廃盤だろうが）。80年代から90年代にかけての、まだグランジとかオルタナといった言葉さえも定着していない頃のアメリカを代表するパワー・ポップ/ギター・ロック・バンドとして高い人気を獲得していたことは、当時、彼らの活動を追いかけていた人であれば記憶に鮮明なはずだ。レモンヘッズの結成は84年マサチューセッツ州はボストンにて。当初はポスト・ハスカー・ドウ、ポスト・リブレイメンツなどと呼ばれていたように、攻撃的なハードコア・パンクを基調としており、Taang!からリリースされた初期の作品はいずれも硬派な音楽ファンに愛聴されてきたものだった。そんな彼らの転機となったのは、度重なるメンバー・チェンジを経て、メジャーのアトランティックに移籍しての2作目『イツツ・ア・シェイム・アバウト・レイ』（92年）。前作『Lovely』でポップ・フィールドへの広がりを見せ始めていたエバン・ダンドのソングライティングがこのアルバムでいよいよ確立され、結果、世界中で広く多くのファンを獲得するに至る。日本で話題になったのもこの作品からで、既にブレイクしていたダイナソー・Jr. やセブダー、あるいはエバンのガールフレンドとも噂されたブレイク・ベイビーズのジュリアナ・ハットフィールドなどと共に、マサチューセッツ州の新しいポップ・シーンが注目を集めた頃でもあった。

だが、96年の『カー・ボタン・クロス』を最後にバンドの活

動は一気に失速する。ダイナソーJr.のドラマー、マーフも同行していた最後の来日公演のアンコールでは、ほとんど酔っ払いがジャンキー(?)と化しているエバンが1人で弾き語りとは言えないパフォーマンスを披露するなど、もはやバンドとしての機能を失っていることを露呈。あのステージを見た誰もがエバン・ダンドの今後を心配したのもだった。ただ、そもそもエバン・ダンドはやや躁鬱の気がある変わり者で、来日時に何度か取材した時もベラベラとしゃべったかと思えばパツパツと口をつぐんでしまうようなこともザラにあり、その神経質で激しい気性ゆえに活動後半は気持ちと体が確実に分裂しかかっていたと推察することもできる。ポップ・バンドとしてヒット・ナンバーの連発を求められてしまう立場に疲れてしまったのではないかと、などといった邪推をすることもできよう。今回、このライナーノーツのために早々に電話インタビューをセティングしたのだが、結局今日の今まで実現していない。これもエバンのムラのある性格に起因しているのだろうか。

いづれにせよ、レモンヘッズとしての表立った活動は96年に降ほとんどない。正式な解散表明はされていないと記憶ですが、おそらくなくす的に活動停止となったのだろう。念のために、レモンヘッズのディスコグラフィーを紹介しておこう。

『Hate Your Friends』(87年/ Taang!)

『Creator』(88年/ Taang!)

『Lick』(89年/ Taang!)

『Lovely』(90年/ Atlantic)

『It's A Shame About Ray』(92年/ Atlantic)

『Come On Feel』(93年/ Atlantic)

『Car Button Cloth』(96年/ Atlantic)

『The Best Of Lemonheads』(00年/ Atlantic)

その後、レモンヘッズはもとよりエバン・ダンドの噂はパタリと聞かなくなってしまう。つまり、90年代後半以降、一部、ジュリアナ・ハットフィールドのブレイク・ベイビーズの再結成アルバム『God Bless The Blake Babies』(01年)などで名前を見る以外は、シーンからはほぼ姿を消すことになってしまい、件のライブ・アルバム『Live At The Brattle Theatre/Griffith Sunset ep』がリリースされるまでどのように活動しているのか伝わってはこなかった。おそらく、その『Live At The Brattle Theatre/Griffith Sunset ep』で聴かれる心機一転しての弾き語りツアーをやるまで、かなり長い間、苦悶、葛藤していたのだろう。それだけに、『Live At The Brattle Theatre/Griffith Sunset ep』というアルバムで見せてくれた自身のルーツへの立ち返りはずっしりと重く興味深いものだった。昨02年にはマッシュ・ヴ・アタックなどへの参加でも知られるクレイグ・アームストロングの新作『As If To Nothing』にヴォーカル/ソングライティングで参加するなど、いよいよ復調の兆しも見せていたし、この春先にはポール・ウェラー、イアン・マカロウらと共に、イラクへの武力行使に出たアメリカ政府とイギリス政府に向けての反戦チャリティ・コンサートをロンドンで行なっている。また、同じマサチューセッツ出身のベン・クウェラーも後輩世代のアーティストとも一緒にツアーに出たりしているという。そこへきて本作『ベイビー・アイム・ポアード』のリリース。80年代のアメリカ・インディーズ・シーンが生んだ異才はいよいよカム・バック完了したというわけだ。なお、本作のイギリスでの発売レーベルはセタンタ。エドウィン・コリンズやディヴァイン・コメディ、フランク&ウォルターズなどを抱える良質インディーズである。アメリカではバー/ナンからのリリースになる。

そして、本作を手にして驚いてしまった。そこでは現在の音楽シーンの一部を切り取ったかのような人脈がしっかり

とバック・アップしていたからだ。活動が途絶えていた中でも、触覚は動かしていたということなのだろうか。

本作のレコーディングは主に3つに分けて行なわれている。一つはジョン・ブライオンをプロデューサーに迎えてLAで録音。もう一つはブライス・ゴギンと共にニューヨークはブルックリンにて録音。そしてあと一つはジャイアント・サンドおよびキャレキシコのメンバーと一緒にスタジオに入ったアリゾナ州トゥソンでの録音である。

ジョン・ブライオンに関しては今や説明不要だろう。エイミー・マン、フィオナ・アップル、ルーファス・ウェインライト、イールズ、そして昨年はブラッド・メルドーやレット・ミラー、パッドリード・ドローン、ボーイなどを手掛けた人気プロデューサーだ。過去にはジェイソン・フォークナーとともにザ・グレイズというバンドで活動していた経験もあるミュージシャン気質の強いウルエイターで、01年には初のソロ・アルバム『Meaningless』をリリース。つい先ごろも、ノンサッチからジョン・ブライオン名義で、『マグノリア』に引き続き手掛けたポール・トーマス・アンダーソン監督の『パンチドランク・ラブ』のサントラがリリースされたばかりだ。そんなブライオンがエバンとしっかり組んで作業が進められたのが本作の①、⑦、⑨、⑪。エバン弾き語りによる⑥もブライオンは関わっていないが、使用スタジオとエンジニアは同じだ。興味深いのはこの4曲をエバンとブライオンの2人だけですべての演奏をこなしてしまっていることだろう。ブライオンがマルチ・インストゥルメンタリストだからこそできたことだろうが、楽曲もまた2人の共作になっていることから、スタジオの中で2人で時間をかけて楽曲を練り上げていったらうことが想像できる。

また、②、③、④、⑧、⑩、は、レモンヘッズ時代からのつきあいとなるブライス・ゴギン(他にはベイヴメンド、アンブス、ラモーンズ、去年リリースされたフィッシュのトレイ・アナスタ

シオのソロ作などを手掛けている)を迎えての気のおけないセッションとなっている。②と⑧のソングライター・クレジットにあるT.Morganというのは、90年代前半にツアー先で知り合ったというオーストラリアのバンド、ゴッドスターのリーダー、トム・モーガンのこと。一時期、レモンヘッズの主要メンバーだったニック・ダルトンもこのゴッドスターのメンバーで、ニック自らがシドニーで経営するHalf A Cowというレーベルからレモンヘッズの弟分的なパワー・ポップ・サウンドを聴かせる作品を多く発表していた。現在活動停止状態のようなのだが、エバンはこのHalf A Cowレーベル周辺バンドから多大な影響を受けた、と当時話してくれたこともある。また、②でそのトムと共作している他、このセッションのほとんどに参加しているクリス・ブローカウはコディン、カムといったバンドのメンバーを歴任してきたマルチ・プレイヤー。とりわけカムはレモンヘッズとほぼ同時代にボストンで活動していたので、その頃からの知り合いなのかもしれない。

驚くのは、②、③、④、⑧に参加しているベーシストのロイストン・ラングドン。彼はニューヨーク拠点のバンド、スペースホッグのメンバーで、ここ最近で一気に知名度を上げた旬の人物なので名前にピンときたひとでもあるだろう。というのも、このロイストン、女優のリヴ・タイラー(無論、エアロミススのスティーヴン・タイラーの娘)とこの3月にカリブ海で挙式したばかり。たちまち話題になったことは記憶に新しい。ちなみに、ここでのプロデューサーのブライス・ゴギンがスペースホッグのメンバーになったという噂もあるが真偽のほどはわからない。さらに、③をエバンと共作しているバトリック・ドイルが、『フランケンシュタイン』や『ハムレット』といった映画のサントラを手掛ける映画音楽家と同性同名だが、同一人物なのかどうかは不明。

そして、⑤と⑫のセッションに深く関わっているハウ・ゲルブ、ジョン・コンヴァーティン、ジョーイ・バーンスがジャイアン

ト・サンドおよびキャレキシコのメンバーであることについても詳しい説明は不要だろうか。アリゾナ州トゥーソンというサボテンと砂漠に覆われた南部、メキシコとの国境沿いに位置する街を一躍有名にしたバンドだが、ジャイアント・サンド自体は80年代初頭から活動するベテラン・バンド。ハウ・ゲルブはこのリーダーとしてルーツ色強い作品を数多く発表してきているが、ここ数年はトータスヤシー・アンド・ケイクなどでお馴染みシカゴのスリル・ジョッキーから作品をリリースしている。とりわけ日本でもリリースされた00年の『チョア・オブ・エンチャントメント』は傑作の呼び声高い1枚。その後、昨年の『カヴァー・マガジン』を最後にバンドは一旦活動停止に入り、ハウ・ゲルブはソロ・ワークに専念している。つい先ごろも同じくスリル・ジョッキーからHowe Home名義でのソロ・アルバム『The Listener』を発表したばかりだ。

ジョン・コンヴァーティノとジョーイ・バーンズはそのジャイアント・サンドのメンバーにして、サブ・プロジェクトのキャレキシコの中心人物でもある。キャレキシコは一昨年暮れに待望の初来日公演も実現させ大きな話題となった。こちらも今年に入って新作『フィースト・オブ・ワイヤー』がリリースされている。ハウ・ゲルブともども、現在のアメリカのローカル・シーンを牽引する重要バンド、アーティストであると言っていていいだろう。そんなジャイアント・サンドおよびキャレキシコのメンバーとエバンが、今作で一緒にやることになったきっかけはわからないが、いかにも彼らしい、南部のロード・ムービー・サントラ作品のような鬱陶気ある仕上がりになっているのには驚かされる。

そして、さらに驚かされるのが、⑤と⑩、そして⑧を共作しているベン・リーの名前だ。レコーディングには参加していないようだが、どうやら現在のエバンとはかなり近い関係にあるという噂を聞いたことがある。言うまでもなく、オーストラ

リア出身のベン・リーは、高校生にしてビースティー・ボーイズのグランド・ロイヤルから作品を多く発表し、一躍日本でも人気を獲得したシンガー・ソングライター。女優のクレア・デインズとつきあい始めてからはニューヨークに活動の拠点を移していたが、最近ではまたオーストラリアに戻ったのだろうか。つい先日リリースされたばかりのニュー・アルバム『Hey You Yes You』(ドクター・オクタゴンのダン・ジ・オートメーターがプロデュースした力作!)もオーストラリアのModular Recordingsからだった。このModularというのは、先にも少し触れたように、エバンの01年のライブ・アルバム『Live At The Brattle Theatre/Griffith Sunset ep』をリリースしたレーベルでもあり、最近では、ヤー・ヤー・ヤーズやジャック・ジョンソンの新作をオーストラリアで発売している。エバンとベンとのつきあいが始まったのは、おそらくレモンヘッズが前述のオーストラリアのインディーズ、Half A Cowとのつながりが強くなった90年代初頭だろう。というのも、同じオーストラリア人のベンがソロ・デビュー以前に組んでいたバンドでそのHalf A Cowから作品をリリースしていたことがあり、レモンヘッズがオーストラリアにツアーで出向いた時に知り合ったことが十分に考えられるからだ。尤も、その頃のベン・リーはたぶんまだ10代半ばだっただろう。

といったように、実に多彩でユニーク、しかも現代のシーンにピタリとリンクするかのような人脈のバック・アップを得て制作したのがこの『ベイビー・アイム・ボアード』というわけだ。と、ジョン・プライオンと組んだ楽曲でポップ・センスを再度開花させ、ブライス・ゴギンとのセッションはバンド・サウンドのリラックスしたムードを取り戻し、そしてジャイアント・サンド/キャレキシコのメンバーとの邂逅は彼のルーツ・ミュージック志向を大きく引き伸ばした。簡単に言ってしまうと、本作の断面からはそんな魅力が汲み取れると言っていると思う。だが、なんとと言っても本作最大の収穫はエバン

の、輝きをとりもどしたそのソングライティング・センスだろう。簡単に言ってしまうと、とにかく曲がいい。ベン・リー作の楽曲はともかくとしても、エバンが関わっているナンバーはいずれも目が覚めるほどに人懐こくキャッチーで、そして、切ないほどに甘くロマンティック。『It's A Shame About Ray』や『Come On Feel』の頃に匹敵するようなポップ・センスが見事に開花しているのにはまこと驚くばかりだ。ここ数年、弾き語りツアーで確実にリハビリをきたただけの甲斐があるクオリティの高さと言っていいだろう。おまけに、エバンのそのトボケたようなヴォーカルにも張りが戻ってきている。2年前の『Live At The Brattle Theatre/Griffith Sunset ep』と聴き比べてみると、その表現力においても違いは歴然だろう。この人がソングライターとして圧倒的に図抜けていたことをあらためて知らしめてくれるに十分な内容であり、また、20年近くのキャリアを重ねつつ、辛酸を舐め、紆余曲折を経てきたからこそ生まれた旨味が染み込んでいもいる。行間から零れ落ちるため息や息遣いなどに、一朝一夕にはいかないだろう人間としての深みを感じ取ることもできるだろう。

そして私は思うのだ。タウンズ・ヴァン・ザントやジョン・ブラインといった伝説のカントリー系シンガー・ソングライターたちを愛してやまない彼は、本作をすることによって大きく近づいたのではないかと。レモンヘッズでの最後の来日公演の際、アンコールでタウンズ・ヴァン・ザントのナンバーをとりあげていたものの、いったい何の曲かさっぱり判然としなかったあの頃を思うと、ここでのエバンのヒューマンであり濃とした佇まいは単なるポップ・シンガーを超えるものだ。そう、体で歌うのではなく、魂で歌うような。音階でメロディを書くのではなく、喉の裏に浮かぶ旋律で紡ぐような。本作におけるエバンは、まさにタウンズ・ヴァン・ザントがそういうシンガーであったように、目に見えない原風景をそのままた歌にしている。

既に本国やイギリスでリリースされている本作、なんとイギリスではアルバム・チャートの30位以内を獲得したという。間違いない。時代は再びエバンに追い風だ。もう迷うことはない。エバンも、そして、彼を応援する私たちも。

2003年4月14日 岡村詩野/Shino Okamura

1. Repeat

Reaching out
To look inside
Got it wrong again
Try so hard to take your side
Though i know you can't win
You're on your own
You're in the street
You come back home
Repeat
Take a fall or place your bet
It's the same damn thing
Crushing out a cigarette
Crack a fifth of gin
Things go wrong
Admit defeat
Things go well
Repeat
We got time to walk around
Drift away on solid ground
Take a plane to some place cold
Somewhere warm if we get old
Stick to your guns
I find my feet
My legs wont run
Repeat

2. My Idea

well i see that we're coming to the end of the affair
There's one final favor to ask of you my dear
Can we pretend that it was you on the receiving end
And tell our friends that it was my idea
I can't adjust to the life of endless afternoons
Which one of us lives in this room
I'll take the bus to the clinic every thursday
But the experts wont know what the fuck to do
So if you hear someone calling at the botton of te stairs
Sing a song to me in a voice that i can hear
Can we pretend that it was you on the receiving end

リピート

心のなかを
探してみる
また思い違いをしていた
なんとか君の力になりたい
君が勝てないのはわかっていても
ひとりぼっちで
街をさまよう君
家に帰って
やりなおせ

黙って落ちぶれるか 賭けに出るか
どっちも同じことだ
煙草をふかし
5杯目のジンをあおる
失敗したら
素直に負けを認めろ
失敗したら
やりなおせ

しばらく歩きまわればいい
揺るぎない大地を漂流すればいい
飛行機でどこか寒いところへ行く
年をとったら暖かい場所へ

あきらめるな
僕は立ち上がる
逃げはしない
やりなおしだ

マイ・アイディア

僕らの関係は終わろうとしている
最後にひとつだけ頼みがあるんだ
傷ついたのは君のほうだったことにしておこう
友達には僕が決めたことだと言えばいい

昼が限りなく続く生活には適応できない
この部屋で暮らしているのは君と僕のどちらなのか
毎週木曜にはバスで病院に通うよ
だれか医者にもどうしていいかわからないだろう

階段の下から君を呼ぶ声したら
僕に聞こえるような声で歌ってくれ
傷ついたのは君のほうだったことにしておこう

3. Rancho Santa Fe

Softened by something
The darkness is done
The moon can speak to the wind
She flows on so quiet
The tide having turned
What was brittle and broken
Can now bend
I notice a change in your eyes
The stars in the river at night
No longer cold, finally able to catch
The ghost flying into the night
Arise
Flying into
Falling into the night
Arise
Falling into the
Flying into the night
The time of forgiveness un us at last
The wind sighs a prayer to the sun
Woven as quiet as clouds move above
The stars shine together as one
Arise
Flying into the
Falling into the night
Arise
Falling into the
Flying into the night
Arise
Falling into the night
Falling into the night

4. Waking Up

Put the other rest of it around itself
Spray with water and restore the health
Let it sleep
Still it keep
Waking up
Waking up

ランチョ・サンタ・フェ

力をそがれて
暗間は穏やかになり
月が風に語りかける
彼女は静かに満ちくる
潮の流れが変わる
もろくもボキンと折れてしまったものが
いまはしなやかにたわむ
君の目つきがやわらいできた
夜の川は星でいっぱいだ
もうひとりじなない やっと
闇に飛びたつ亡霊をつかまえらるる

よみがえれ
闇に飛びたち
闇に溶けこみ
よみがえれ
闇に溶けこみ
闇に飛びたち

ついに許しの時が訪れる
風は太陽に祈りをささげる
流れる雲のように静かに纏られる
星たちはひとつになって輝く

よみがえれ
闇に飛びたち
闇に溶けこみ
よみがえれ
闇に溶けこみ
闇に飛びたち
よみがえれ
闇に飛びたち
闇に溶けこみ
よみがえれ
闇に溶けこみ
闇に溶けこみ

ウエイキング・アップ

あとの残りで覆っておけ
水をかけて健康を取り戻せ
寝ていると思っても
そいつはいつだって
目をさます
目をさます

Take a shower
And destroy your health
Put the other rest of it around itself
Let it sleep
Still it keep
Waking up
Waking up
Waking up
Waking up
Waking up
Waking up

5. Hard Drive

This is the town i'm living in
This is the street i'm walking down
these are the friends i'm visiting
These are the clothes i'm wearing now
This is the house i'm building here
This is the girl i'm marrying
This is the chord i'm strumming now
This is the faith i'm leaning on
This is the Child i'm bearing now
This is the love that i've always had
This is the face i make when i'm sad
This is the town i'm living in
This is the hard drive
This is the ocean
Have you ever felt yourself in motion
Have you ever felt yourself in motion
These are the feet i'm standing on
These are the hands that built a world
This is the bed i'm sleeping in
This is the shirt i'm buttoning
This is the pace i'm moving at
This is the tune i'm humming now
This is the road i'm walking down
These are the lips that form my words
This is the stone that i want to turn
These are the people that i love
These are the eyes that look up above
This is the town i'm living in
This is the hard drive
This is the ocean
Have you ever felt yourself in motion
Have you ever felt yourself in motion

シャワーを浴びれば
健康を損ねる
あとの残りて覆っておく
寝ていると思っても
そいつはいつだって
目をさます
目をさます
目をさます
目をさます
目をさます
目をさます

ハード・ドライブ

これは僕が住んでいる街
これは僕が歩いている通り
これは僕が訪ねていく友達
これは僕が着ている服
これは僕がここに建てている家
これは僕が結婚する女性
これは僕が弾いているコード
これは僕が拠りどころにする信念
これは僕が生み出す子ども
これはずっと胸にいだいてきた愛
これは悲しいときに見せる顔
これは僕が住んでいる街
これは骨の折れるドライブ
これは海
自分が進んでいくのを感じたことがある？
自分が進んでいくのを感じたことがある？

これは僕が踏みしめる足
これは世界を突きあげる手
これは僕が眠るベッド
これは僕がボタンをかけているシャツ
これは僕が移動するベース
これは僕が口ずさんでいる歌
これは僕が歩いていく道
これは僕の言葉をかたちにする唇
これは僕がひっくり返そうとする石
これは僕が愛する人びと
これは天を見上げる目
これは僕が住んでいる街
これは骨の折れるドライブ
これは海
自分が進んでいくのを感じたことがある？
自分が進んでいくのを感じたことがある？

6. Shots Is Fired

There are a million things
You'll never get to do
You had your way before and where'd it get you to
Waking up on the floor and sleeping in your shoe
Already too much change in the reflecting pool
Whatever part of you thats been calling the shots is fired
Whatever part of you thats been calling the shots is fired
X2

7. It Looks Like You

I can't for the life of me tell you
What all this is really about
So i'm leaving you with the burden of proof
And a strong case of reasonable doubt
Honey it looks like you got some explaining to do
Honey it looks like you got some explaining to do
I can't for the love of jehovah
Comprehend why you knock at my door
When you said it was over
Over and over
Isn't that at you told me before
Honey it looks like you got some explaining to do
Honey it looks like you got some explaining to do
Like where you've been
and what you done
And who you saw
Was it fun
There were places that you never thought you'd go
Why you went on the attack and
Why you left and
Why you're back
And the fact that you refuse to let me know
Honey it looks like you got some explaining to do
Honey it looks like you got some explaining to do
Honey it looks like you got some explaining to do
Honey it looks like you got some explaining to do

8. The Same Thing You Thought Hard About Is The Same Part I Can Live Without

Another joke at my expense

ショット・イズ・ファイアード

君の決してしないことが
百万とある
以前にたどった道は君をどこへ導いたのか
床の上で目をさまし 君の身になって眠る
光を反射するプールでは もう大変動が起きている
君のなかのいったい何が 銃撃だと叫ぶのか
君のなかのいったい何が 銃撃だと叫ぶのか

イット・ルックス・ライク・ユー

これがどうしたことなのか
どうしても説明がつかない
僕は行くよ 証拠という重荷と
まぎれもない正当な疑惑を君に残して
ハニー 釈明することがあるんじゃないのか
ハニー 釈明することがあるんじゃないのか

なぜ僕の家に來るのか
エホバの愛にかけて理解できない
もう終わったことだと
何度も言いたくせに
僕にそう言ったのは君だ
ハニー 釈明することがあるんじゃないのか
ハニー 釈明することがあるんじゃないのか

たとえば どこにいたのか
何をしたのか
誰に会ったのか
楽しかったかい
とても君の行きそうにない場所へ行っただろう
なぜ攻撃を仕掛けてきたんだ
なぜ離れていったんだ
なぜ戻ってきたんだ
君は真相を知らせようとしな
ハニー 釈明することがあるんじゃないのか
ハニー 釈明することがあるんじゃないのか
ハニー 釈明することがあるんじゃないのか
ハニー 釈明することがあるんじゃないのか

ザ・セイム・シンク

また僕をバカにしているんだな

I can't believe where the time went
And how the past became the present tense
Its all blown out for me
A trap door underneath my shoe
I stepped aside to let her loose
I stepped aside to let her through
Its all blown out to sea
And the same thing
you thought hard about
is the same part i can live without
I can't believe how far i slid
And secretly i'm glad i did
I can't believe how far i slid
I guess i had to see
A broken heart and two black eyes
But you should see the other guy
Forget it howe
Forget it why
Its all blown out to sea
and he same thing you thought hard about
is the same part i can live without

9. Why Do You Do This To Yourself ?

You stayed awake for fourteen days
And then you slept a week
Why do you do this to yourself?
You drank out on the fire escape
Until you couldn't speak
Why do you do this to yourself?
Why do you do this to yourself?
Refusing any kind of help
Your not hurting no one else
That you can see
Why do you do this to yourself?
If you knew just how it felt
Your not hurting no one else
That you can see
You'll stay up again i'm sure
I won't be losing sleep
Why do you do this to yourself?

10. All My Life

Just to look for sunshine

信じられない 幸せな時はどこに消え
過去がどうやって現在の時制になったのか
すべてはほむざんに吹っ飛んだ
靴の下で落ちて戸がひらく
わきへよけて彼女を自由にさせた
わきへよけて彼女を通してやったのに
すべては跡形もなく吹っ飛んだ
君が困難だと思っている例のことだけど
僕はそれがなくて生きていける

信じられない いつのまにここまで来たのか
こっそり抜け出せてよかったよ
信じられない いつのまにここまで来たのか
僕は見えないわけにはいかなかった
砕けたハートとふたつの黒い目
けれど 君はほかの男を見ていた
今さらどうでもいい
みんな忘れてしまえ
すべては跡形もなく吹っ飛んだ
君が困難だと思っている例のことだけど
僕はそれがなくて生きていける

ホワイ・ドゥ・ユー・ドゥ・ディス・トゥ・ユアセルフ

14日も寝ないでいて
1週間ぶっとおして眠った
なぜ自分にそんなことをするんだ?
非常階段で酒を飲み
まともに喋れなくなるほど酔っ払った
なぜ自分にそんなことをするんだ?
なぜ自分にそんなことをするんだ?
君はいつさいの助けを拒む
べつに他人が傷つくわけじゃないのを
承知のうえでのことだろうが
なぜ自分にそんなことをするんだ?
見ているほうの気持ちも考えろ
べつに他人が傷つくわけじゃないのを
承知のうえでのことだろうが
きっとまた寝ないでいるんだろ
僕は不眠症にはならない
なぜ自分にそんなことをするんだ?

オール・マイ・ライフ

太陽の光をもとめて

To be burning full time
To Be filled with hatred
For the time i've wasted
And i'm so impatient
For a new sensation
God knows what i thought i'd do
I bit my own sweet heart in two
All my life
I thought i needed all the things i didn't need at all
My life
I thought i wanted all the things i didn't need at all
Just to hold a heartbeat
In a box by my feet
To be filled with glory
Just to speak a story
Can you feel the thunder
From the cloud i'm under
God knows how will i get through
I bit my own sweet heart and blew it
All my life
I thought i needed all the things i didn't need at
All my life
I thought i wanted all the things i didn't want at
All

11. Stop My Head

Speaking before
You figure it out
Not always right
But never in doubt
Steppin aside for now
Your mind is read
Fall down dead
Into the dark
Out of the room
Out of the way
Never too soon
Some of the ground you gained
Lost instead
Fall down dead
Don't listen to me
Listen to yourself
Listen to yourself
Don't listen to me
Or anybody else
Listen to yourself

いつもじりじりと焦がれ
憎しみを燃やして
時間を無駄にした
一刻も早く
新しい刺激をみつけたい
僕がどうするつもりだったか知る人はいない
結局 自分の大事なハートを真二つに引きちぎっただけ
今までずっと
必要でもないいろんなものを必要だと思っていた
今までずっと
欲しくないいろんなものを欲しいと思っていた

切なる願いを
足もとの箱にしまいこみ
栄光に酔いしれて
作り話をしようとした
聞こえるだろう
頭上の雲からどろく雷鳴
どうやってこれを切り抜ければいいのか
結局 自分の大事なハートをさんざんに痛めつけただけ
今までずっと
必要でもないいろんなものを必要だと思っていた
今までずっと
欲しくないいろんなものを欲しいと思っていた

ストップ・マイ・ヘッド

前にも話した
何のことかわかるだろう
いつも正しいとは限らないが
疑ったことはなかった
いまは一步引いて
君の心を読んでいる
地に落ちて
闇のなかへ
部屋を出て
道を踏みはずす
もう手遅れかも
せっかく手に入れたものを
また失う
地に落ちて

僕の言うことを聞くな
自分の声に耳をかたむけろ
自分の声に耳をかたむけろ
僕の言うことを聞くな
誰の言うことも聞くな

Some of the things you said
Stop my head
Fall down dead
Fall down dead

自分の声に耳をかたむけろ

君の言ったことが
僕の思考を停止させる
地に落ちて
地に落ちて

12. In The Grass All Wine Colored

I'm in the grass all wine colored
Wine colored grass

イン・ザ・グラス・オール・ワイン・カラード

あたり一面ワイン色の草原
ワイン色の草原

*14の歌詞・対訳は割愛させていただきます。御了承下さい。

対訳:内田 久美子

13. Shots Is Fired with Liv

Royston Langdon-Bass
Arthur (from Come)-Drums
Chris Brokaw-Guitar
Liv Tyler-vocals on chorus
Evan Dando-Guitar and vocals and overdriven acoustic piano and dobro
Produced by Bryce Goggin

14. Tongue Tied (1999)

Ben Lee-Rhythm Guitar
Raphael-Hammond Organ
Nigel Mogg-Bass Guitar
Evan Dando-Drums and vocal and guitar solos
Produced by Bryce Goggin

インベリアル・インターナショナルに今すぐアクセス!!!

インベリアルレコードの洋楽ホームページ

www.imperialrecords.jp/intl/enq/では、

お買い上げいただいたCDIに関する

アンケートを行っております。

アクセスをお待ちしております。

取り扱い上のご注意 ●ディスクは両面共、指紋、汚れ、キズ等を付けないように取り扱ってください。 ●ディスクが汚れたときは、メガネふきのような柔らかい布で内周から外周に向かって放射状に軽くふき取ってください。レコード用クリーナーや溶剤等は使用しないでください。 ●ディスクは両面共、鉛筆、ボールペン、油性ペン等で文字や絵を書いたり、シール等を貼付しないでください。 ●ひび割れや変形、または接着剤等で補修したディスクは、危険ですから絶対に使用しないでください。 **保管上のご注意** ●直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所には保管しないでください。 ●ディスクは使用后、元のケースに入れて保管してください。 ●プラスチック・ケースの上に重いものを置いたり、落としたりすると、ケースが破損し、ケガをすることがあります